

インドネシア初の地下鉄 ジャカルタ都市高速鉄道南北線第一期事業 開業

日本コンサルタンツ株式会社（本社：東京都千代田区）は、インドネシア初の都市高速鉄道システム（Mass Rapid Transit (MRT)）であるジャカルタ都市高速鉄道南北線第一期事業において、ジャカルタ都市高速鉄道公社（PT. Mass Rapid Transit Jakarta、MRTJ社）より建設施工監理コンサルティングサービス、および運営維持管理コンサルティングサービスを受注し、同鉄道の開業準備を行ってまいりました。このたび2019年3月24日に、インドネシア国ジョコ・ウィドド大統領をはじめ、石井正文在インドネシア特命全権大使、田中寧 JICA 理事等、多くの政府要人・関係者を迎えて開業式が行われました。本事業は、質の高い日本の鉄道インフラシステムを運営・維持管理まで含めたパッケージとして輸出した初めての事例となります。

ジャカルタ都市高速鉄道南北線は、ジャカルタ中心部を南北に縦断し、インドネシア鉄道のターミナルであるコタ(Kota)地区からブロック(Blok) M地区を経て、郊外のレバックブルス(Lebak Bulus)までを結ぶ延長23.8kmに及ぶ路線として計画されています。このたび第一期事業として建設されていたブンダランハイ(Bundaran HI)～レバックブルス間15.7kmが開業します。

当社は、2013年に株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル（本社：東京都新宿区）を幹事とする共同企業体に参加して、建設工事の施工監理コンサルティングサービスを受注しました。当社は、国内唯一の海外鉄道コンサルタントとして、信号、通信、電力、車両、駅機械設備など鉄道に関する深い知見を要する分野を担当しました。

さらに2016年には、当社を共同企業体幹事として日本工営株式会社（本社：東京都千代田区）、株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル、および株式会社パデコ（本社：東京都港区）と共同企業体を結成し、運営維持管理コンサルティングサービスを受注しました。当社は、MRTJ社内で鉄道の運営・維持管理を担う組織の構築、実際に運転やメンテナンスに携わるスタッフの教育訓練など、日本の鉄道事業者等の協力を得ながらMRTJ社を支援してまいりました。

運営維持管理コンサルティングサービスは、開業後6ヶ月間の支援も予定されています。当社は引き続き、ジャカルタ都市高速鉄道が安全かつ快適な運行サービスを提供できるように支援してまいります。



【お問い合わせ先】

日本コンサルタント株式会社

総務部 森田・佐々木 03-6269-9878

企画営業本部 石井・高橋 03-6269-9879